

表現 -行為を通じて考えること- with 大巻伸嗣

各務原西高出身で国内外にて作品を発表している現代アーティスト大巻伸嗣さんを講師に迎え、「表現することとは何か?」について考えるワークショップを開催します。



Echoes Infinity Moment and Eternity / Aichi Triennale 2016, rainbow caravan / Venue:Aichi Prefectural Museum of Art,Aichi,Japan / Year:2016
medium : space[felt, carpet, fluorescent light, cloth] / pillar[canvas, natural pigment, new pigment, acrylic case]
size : space [1900x2185x420(cm)] / pillar[130x408x45.5(cm)] / Photo : Tetsuo Ito / 2016 Aichi Triennale Organizing Committee



Gravity and Grace / Aichi Triennale 2016, rainbow caravan
Venue:Aichi Prefectural Museum of Art,Aichi,Japan / Year:2016
medium : Object[firon, urethan paint], Light[firon, stainless steel, LED light, etc]
size : φ400x700(cm) / Photo : Tetsuo Ito / 2016 Aichi Triennale Organizing Committee

概要／ものをつくるということをもみなと行為を通じて考えていきたい

日時／11月6日(土) 11:00~16:00

場所／各務原特別支援学校 屋内アリーナ(各務原市那加雲雀町1)

対象／各務原市内在住の高校生、または市内高等学校在学学生、教職員等

定員／20名程度(先着順)

申込／9月1日からメールのみの受付。

※メールの件名に「ワークショップ希望」、本文に、「氏名、学校名、学年、部活動名、住所、電話番号、以下の◇大巻先生からの質問の回答」を記入の上、art@city.kakamigahara.gifu.jp に送付。

問合せ／各務原市文化協会事務局(いきいき楽習課内) ☎058-383-1042・✉art@city.kakamigahara.gifu.jp

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、やむを得ずイベントの内容を変更、中止する場合がございます。

関連事業／第31回高校生美術展(11月20日~11月23日開催)



photo: Katsuhiko Ichikawa

大巻伸嗣 SHINJI Ohmaki

profile

影や闇といった身近であるが意識から外れてしまうもの、対立する価値観の間に広がる境界、刻々と変化する社会の中で失われてゆくマイノリティー等に焦点を当て、「存在」とは何かをテーマに制作活動を展開する。「空間」「時間」「重力」「記憶」をキーワードとして、多種多様な素材や手法を用いて、曖昧で捉えどころのない「存在」に迫るための身体的時空間の創出を試みる。主な作品として、『ECHO』シリーズ、『Liminal Air』、『Memorial Rebirth』、『Flotage』、『家』シリーズ、『Gravity and Grace』等がある。日本国内のみにとどまらず、世界中のギャラリー、美術館などで意欲的に作品を展開している。

1971年岐阜県生まれ

「大巻伸嗣 Liminal Air -Descend-2007」金沢 21世紀美術館/2009年「Memorial Rebirth GIFU TONYAMACHI PROJECT “永遠と一瞬”」岐阜/2012年「存在の証明」箱根彫刻の森美術館/「あいちトリエンナーレ 2016」愛知県美術館/「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2018」新潟/水郷ひた芸術文化祭 2018 大巻伸嗣個展「SUIKYO」大分/2020年「存在のざわめき」関渡美術館(台湾)

◇大巻先生より質問があります。

1. 一番最近作った作品は何ですか?(下記から選んでください。その他の場合は内容を書いてください)

彫刻・絵画・書・写真・音楽・ダンス・その他()

2. 1を作っている時あなたは何を考えていましたか?

3. あなたの好きなアーティストを教えてください(複数可)